



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造
養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和6年2月5日) 第29号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

1・17避難訓練・防災集会

阪神・淡路大震災以来、兵庫県内ほぼすべての学校で1月17日に避難訓練等を実施しています。今年度の八鹿青溪中学校では、私から以下のような話をさせていただきました。また、東日本大震災や能登半島地震も含め、すべての震災犠牲者へ黙祷を捧げました。

「平成7年の但馬地方の冬は、時折屋根の雪下ろしをしなくてはならないほどの大雪でした。あの1月17日の朝も屋根の上にはかなりの雪が積もっていました。そして、午前5時46分、突然の大音響とともに飛び起きたわけですが、一瞬、大雪で屋根がつぶれて落ちてきたかと錯覚するくらいのだいへんな衝撃でした。1階に居た家族が『今、地震やったけど1階は大丈夫やで！ 2階はどうや!?』と大声をあげたのを覚えています。少々の時間が経過した後、私はテレビのスイッチを入れ、神戸のいたる所で大火災が起き、多くのビルや高速道路が倒れていることを知りました。もちろん、たくさんの一般住宅もつぶれていました。被害は神戸のみにとどまらず、淡路島なども極めて深刻な状態になっていました。・・・(以下略)」

地震というものは、いつ、どこで起きてもおかしくないものであると言われますが、どうしても心のどこかに、「きっと自分たちは大丈夫だ。」「地震はどこか遠くで起きるものだ。」などの安易な気持ちを持ってしまいがちです。また、たとえ防災意識を持っていたとしても、実際に大地震が起きたらいったいどんな状態になってしまうかのイメージが湧かないという人も少なくないと思います。

私は、平成23年3月11日に起きた東日本大震災発生約2週間後に、兵庫県職員災害援助隊として宮城県気仙沼市に赴きました。気仙沼の町は、津波により多くの住宅が押し流されて瓦礫の山。また、無数の漁船が陸上にうちあげられ、おびたしい数の自動車が高い建物の窓を突き破って上層階に入り込んでいました。道が道でなくなり、駅が駅でなくなり、港が港でなくなり・・・。体育館には犠牲になった方の棺の列。そして、その中を確認して泣き崩れる親族の方々。まさに凄惨を極める数々の光景に言葉を失いました。そして、もうひとつ気がついた大震災の一側面・・・、それは人の“臭い”。すれ違う人々が一様に臭うのです。入浴ができないので仕方ありません。私は、そこに「“大震災”とはこういうことなのだ。」と教えられたような気がしました。

私たちは、背中に「兵庫県」と書かれたジャンパーを着て活動をしていましたので、被災された多くの方が「とても遠くから来てくれたんです



阪神淡路大震災で倒壊した高速道路



私が派遣された宮城県気仙沼市の光景



八鹿青溪中学校の避難訓練（1月17日）



八鹿青溪中学校の防災集会（1月17日）

ね!」と声をかけてくださりました。大震災の現地に赴くことによって、悲惨な経験をなされた被災者の方々を少しは勇気づけられたのかなと胸が熱くなったのを今でも覚えています。

3年生 進路実現に向けて

1月15日(月)・16日(火)の進路懇談会を経て、いよいよ3年生の進路希望先が固まってきました。私からは、3年生に向かって、「担任の先生や学年の先生のアドバイスをよく聞いて確実に『合格』を獲得できるようにしよう!」「受験はけっして毎年のように続くものではなく、長い人生のうちにわずか数回のことだから頑張れ!」「受験は個人戦ではなく団体戦。みんなで力を合わせて、励まし合いながら進路実現を果たしてほしい!」などと激励の言葉を投げかけさせていただきました。現在、3年生は各担当教員の指導のもと、それぞれの進路希望先別に分かれて放課後学習を続けています。くれぐれも体調に気をつけて目標を達成してほしいものです。



ちなみに、2月10日(土)が私立入試、15日(木)が公立推薦適正検査、3月12日(火)が公立一般学力検査の日となっています。1・2年生にも3年生の頑張りぶりをよく見てほしいと願います。

八鹿青溪中学校ホームページ閲覧件数5000件超え!

1月の本校ホームページ閲覧件数が5000件を超えました。12月までも1ヶ月約2000~3000件の閲覧がありましたので、すでに今年度約2万5000件程度の閲覧があったことになります。本校では、日常の生徒の様子についてホームページを通じて分かりやすくお伝えすることに力を入れてきましたが、それを多くの方がご覧くださっていることにたいへん喜びを感じます。おもに垣尾教頭や情報教育担当の土出教諭が中心となって更新作業をしていますが、行事ごとに各担当教員が原稿案を作ったり、写真を選択したりと全職員で協力しながらホームページを作成しています。写真については、おもに八幡教諭が中心となって生徒の活動の様子を撮影しています。今後も本校ホームページをどうぞご覧ください。



2月の「草庵先生の教え」

2月の「草庵先生の教え」は、「凡(おおよ)そ学(まな)ぶ者は、以(もつ)て自己(じこ)の身心(しんしん)を成就(じょうじゆ)するのみ」です。意味は「学問(勉強)とは、自分の中にある力や才能を掘り出し、それを磨くことで、自分を完成させるものだ。」になります。やや難しい表現ではありますが、要は、「人が自分を良く見てくれるかどうかなどは関係ない。学問とは、自分の身と心を立派に完成させるためにあるのだ。」と理解すれば良いのではないかと考えます。学問(勉強)は、他人からの評価のためではなく、自分自身の成長のためにするのだということであり、是非大人も大切にしなければいけない教えだと思えます。

校訓 貫徹 慎独 創造 2月

およ 凡そ学ぶ者は、もつて自己の身心を成就するのみ

しんしん じょうじゆ

学問(勉強)とは、自分の中にある力や才能を掘り出し、それを磨くことで、自分を完成させるものだ。